

2011年4月24日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 自立支援ホーム

あすなろ荘

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

あすなろ基金創設のための資金

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

自立支援ホームを利用する多くの子どもたちが、中卒・高校中退という状況で入所しています。学歴社会の日本で親や家族の支援を受けられないこと、更には低学歴の子どもたちが大きなハンデを背負わされながら一生を生きていかなければなりません。ホームの子どもたちが希望も、未来を生き抜くためには、学歴や技術・資格の取得は必須であり、そのための資金援助は、私たち大人が社会の責任としてサポートするべき本事業を立ちあげた。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

「あすなろ基金」は自立支援ホームあすなろ荘の入所者、退所者の就職・進学・資格取得に役立つ資金を援助することを目的とした基金であり、社会的養護のもとで生きる子どもたちが将来の選択肢をいつでも多く持つことにつながる事業である。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

「あすなろ基金」を創設したことを、シンポジウム等の場で広く告知し、より多くの寄付金を募る工夫をした。会報誌、また、マスコミにもいくつかとりあげられ、寄付金は500万円程集めることができた。二人の入所者が専攻学校へ進学することができた。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

子どもたちが退所後も安心して社会で生きていくため、学歴や資格を取得できるよう支援するのは私たち施設関係者が責任をもちなければならない。そのための資金をいかに調達していくか、私たちの力量にかかっていると改めて感じた。また、社会的養護の子どもたちの現状をしっかりと伝え、何が求められるのかを社会に訴え、いく、必要を生も強く認識した。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし